

みずほ

第 50 号（発行：2023.12.19）

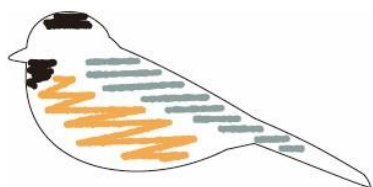
野幌森林公園で観察にチャレンジ② 野鳥編

森で出会った動植物を調べるときに、どこを見たらいいのかわからないなんて経験はありませんか？観察するときの「ここを見るとヒントになるかも！」ポイントの紹介です。

野鳥は一瞬の出会いになることが多いので、見るポイントを押さえると、記憶を頼りに調べるときに役立ちます。

色

だいたい良いので、体のどの部分が何色か配色に注目する



例：ヤマガラの場合

→おなかがオレンジ、
背中が灰色、頭やのどが黒色

大きさ

身近な種類を基準にして比べる



スズメ

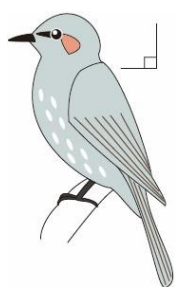


ドバト（ハト）

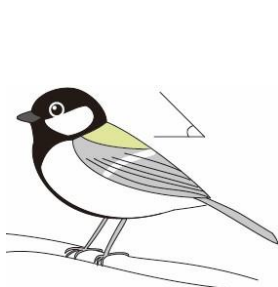
例：スズメより大きい、小さい、同じくらい

姿勢

とまったときの姿勢に注目する



ヒヨドリ
垂直



シジュウカラ
45度くらい



アカゲラ
木に沿う

形

尾や羽、嘴などの形をしてみる



ウソ
太くて短い

エナガ
長い



キバシリ
細長い

Q 次の3つの情報が

すべて当てはまる野鳥はどれでしょうか

情報1：灰色と白色と顔に黒色だった

情報2：スズメくらいの大きさだった

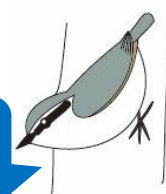
情報3：木に沿って頭を下に動いていた

答えは最終ページに

①ヒヨドリ

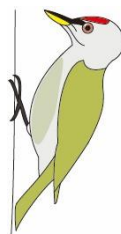


②ゴジュウカラ



みずほは今回で
50号!

③ヤマゲラ



④ウソ



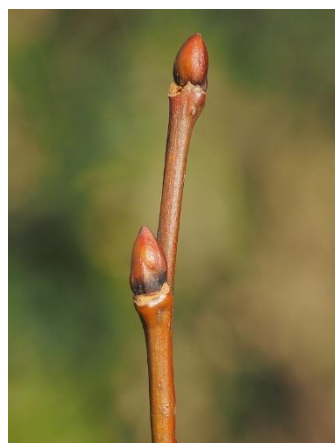
冬芽図鑑

①

樹木は厳しい冬の寒さや乾燥から葉や花を守るために、冬芽(ふゆめ・とうが)と呼ばれる姿で冬越しをしています。うろこ状のものに覆われていたり、ふわふわの毛をまっていたり、その表情はとても個性豊かで、冬芽だけで種名を特定できる種類もあります。

野幌森林公園では植栽種を含めて約 180 種類の樹木が確認^(※)されています。その中から今回は 20 種類をご紹介します。

冬芽の名称



エゾノバッコヤナギ

長さ：5-8mm

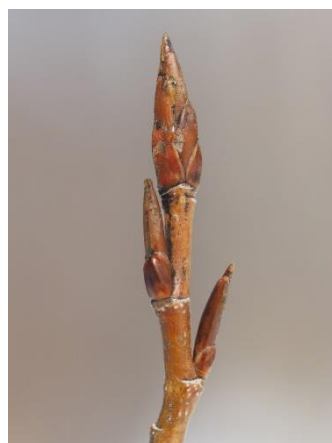
芽鱗：1 枚



イヌコリヤナギ

長さ：15-20mm

芽鱗：1 枚



ドロノキ

長さ：15-20mm

芽鱗：5～10 枚

樹脂に覆われベタベタしている



シラカンバ

長さ：5-10mm

芽鱗：4 枚

雄花序は裸芽



ウダイカンバ

長さ：8-12mm

芽鱗：4 枚

雄花序は裸芽



ハルニレ

長さ：3-5mm

芽鱗：5-6 枚

葉痕は顔のよう



オヒョウ

長さ：5-8mm

芽鱗：5-6 枚

葉痕は顔のよう

芽鱗の縁に毛が生える



オニグルミ

長さ：10-16mm

裸芽

雄花序は裸芽、葉痕は羊のよう

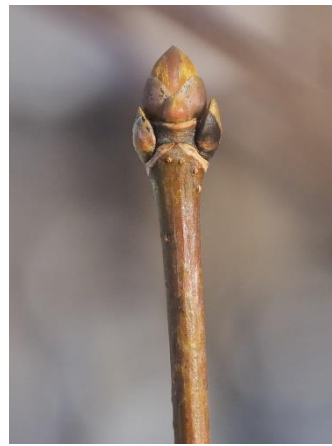
短毛が密生する



イタヤカエデ

長さ：5-8mm

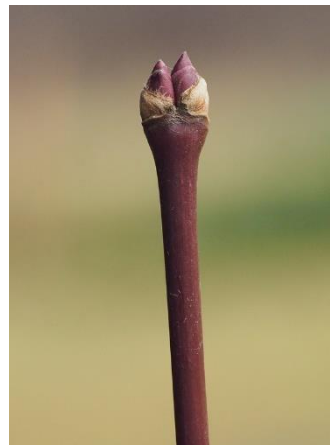
芽鱗：6-10 枚



アカイタヤ

長さ：5-8mm

芽鱗：6-10 枚



ハウチワカエデ

長さ：4-8mm

芽鱗：4 枚

(2 枚のこともある)



ツリバナ

長さ 6-15mm

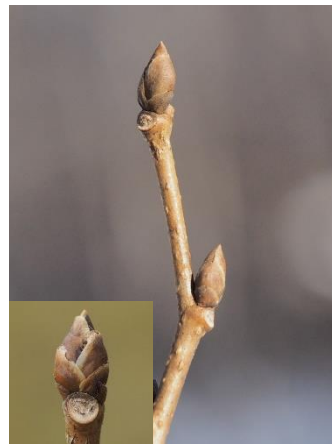
芽鱗：7-10 枚



オオツリバナ

長さ：14-20mm

芽鱗：7-10 枚



ヤマグワ

長さ：3-6mm

芽鱗：5-6 枚

葉痕はマンホールのように



カツラ

長さ：3-5mm

芽鱗：2 枚



キハダ

長さ：2-4mm

芽鱗：2 枚

葉痕はピエロのように



ニガキ

長さ：4-8mm

裸芽

葉痕は顔のよう

毛が密生する



ハクウンボク

長さ：5-8mm

裸芽

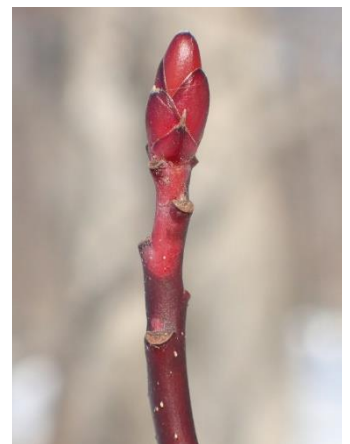
やわらかい毛が密生する



ミツバウツギ

長さ：3-4mm

芽鱗：2 枚



ミズキ

長さ：7-12mm

芽鱗：5-8 枚

※【道立自然公園野幌森林公園の植物 野幌森林公園植物調査の会】の調査による

参考文献 「冬芽でわかる落葉樹」 馬場多久男（信濃毎日新聞社）

「冬芽ハンドブック」 広沢毅（文一総合出版）

「北海道樹木図鑑」 佐藤孝夫（亜細亜社）

～執筆・写真：普及啓発員 神 真琴～

鳥の プチ情報

Vol. 6

葉のなくなった木々の樹冠は見晴らしがよくなり、飛び回る野鳥が見やすくなってる今日この頃。北海道より北の地から海を越えて、多くの冬鳥が野幌森林公園を訪れます。

そんな冬鳥の中から、特徴的なフォルムをした2種類の野鳥をご紹介します。

○キレンジャク・ヒレンジャク

【特徴】

- ・冠羽と呼ばれる頭の羽毛が特に長く伸び、角のように突き出している。
- ・体が太く、尾が短い。尾の下面が赤色をしている。

【2種類の見分けポイント】

キレンジャク：初列風切羽と尾羽の先端が黄色い ヒレンジャク：黒い過眼線が冠羽の縁まで伸びている
尾羽の先端が赤い
初列風切羽の先が白い



【鳴き声】

キレンジャク：チリチリチリ、チーチー

ヒレンジャク：チリチリチリ、ヒーヒーヒー

キレンジャクとヒレンジャクはそれぞれ群れで行動するため、1羽見つけると周囲に何羽か、まとまって見ることができます。また、キレンジャクとヒレンジャクは群れが混ざることがあるので、一度にどちらの種も見ることができる可能性もあります。

園内では、自然ふれあい交流館の周りでも見ることがある種類です。

野鳥は種類によって形や色合いが全然違います。ぜひ、身の回りの野鳥がどんな姿をしているか観察してみてください。面白い発見を得られるかもしれませんよ！

出典 「北海道野鳥図鑑」 河井大輔・川崎康弘・島田明英 著（亜理西社出版）

～執筆：普及啓発員 畔柳 遥～

表紙（1ページ）の野幌森林公園で観察にチャレンジ② 野鳥編の答えは『ゴジュウカラ』です。

野幌森林公園 自然ふれあい交流館

（発行・編集／指定管理者：一般財団法人北海道歴史文化財団）

開館時間：10～4月 9:30～16:30、5～9月…9:00～17:00

休館日：毎週月曜日（祝日・振休の場合開館）、年末年始（12/29～1/3）

入館料：無料

駐車場：大沢口 約40台収容、無料

連絡先：〒069-0832 北海道江別市西野幌 685-1 TEL011-386-5832 <http://www.kaitaku.or.jp/nfpvc.htm>